

信金中央金庫ニューヨーク駐在員事務所

米国金融市場レポート



2023 年 8 月 29 日

1. 米国財政の現状および今後の展望
2. 米国経済・金融市場アウトルック(運用会社等セミナー要旨)

1. 米国財政の現状および今後の展望

(1) フィッチ(Fitch)による米国債の格下げ

8月1日、Fitch が米国の外貨建て長期発行体デフォルト格付けを AAA から AA+に格下げすることを発表しました(図表1)。その理由として、Fitch は以下の 3 点を挙げています。

- ✓ 今後 3 年間で予想される財政の悪化(一般政府財政赤字の拡大)
- ✓ 高水準かつ増加しつつある一般政府債務負担(一般政府債務の拡大)
- ✓ 繰り返される債務上限問題を巡る対立と土壇場での解決から明らかなように、他の「AAA」「AA」格付諸国と比べて過去20年間でガバナンスが低下していること(ガバナンスの低下)

また、同社は、米国の財政を示す指標が同等格付諸国に対して大幅に劣後している点も指摘しています。図表2に示す通り、連邦政府の歳入に占める支払利息の割合は、米国が2025年までに10%に達する勢いである一方、AAA格付諸国の中央値は僅か1%、AA諸国では 2.8%となっています。また、債務/GDP 比率についても、同等格付諸国の平均を大幅に上回っている点を指摘しています。

2011年に S&P が AAA から AA+に格下げした際はリスクオフが進み、金利は急低下したものの米国債は買われ、米国債の価格は高値を記録しました。

こちらは信用金庫とのお取引先向けとさせて頂いております。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

[続きを読む](#)